

事務事業名	中山間地域等直接支払制度	所属部	農林振興部	所属課	農政課	
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>	所属G	地域支援G	課長名	熱田 勇二
	施策名	(34)農業の振興	担当者名	佐藤 誠二	電話番号	0854-40-1051
	目的:対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	(内線)	2415
	基本事業名		予算科目	会計 013001 款 大事業 01 大事業名 01 中山間地域等直接支払制度 推進事業 項目 058566 中事業 中山間地域等直接支払制度 交付金		

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H27 年度 ~ R元 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
耕作放棄地の増加等により農地の多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、生産条件が不利な農地に対して、多面的機能を維持する観点から、協定を締結した集落等に交付金を交付する事業。 <b>■対象地域</b> 過疎法など8法対象地域 <b>■対象農用地</b> 農用地区域で制度条件を満たす傾斜地 <b>■対象者</b> 集落協定に基づき5年間継続して農業生産活動を行う農業者等 <b>■実施内容</b> 協定農地で農地の管理、多面的機能の維持増進等の活動を実施する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R元年度実績(R元年度に行った主な活動) 取組の推進及び確認、交付金の支払い事務等 対象農地の傾斜測量 R2年度計画(R2年度に計画する主な活動) 取組の推進及び確認、交付金の支払い事務等 対象農地の傾斜測量					
	② 活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	ア 協定面積	ha	1,723	1,731	1,733	1,624
	イ 交付金額	千円	283,175	284,543	284,784	284,000
	ウ 協定集落数	集落	192	192	192	186
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	・傾斜のある農地 ・対象集落	ア 農地面積	ha	3,985	3,882	3,795	3,720
		イ 協定集落数	集落	192	192	192	186
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)	
・対象集落が協定を締結して集落内農地を5年間以上維持する。	ア 協定面積	ha	1,723	1,731	1,733	1,624	
	イ 協定集落の農地面積に対するカバー率	%	43.0	45.0	46.0	44.0	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)	
<b>■交付金額</b> 284,784千円(国1/2・県1/4・市1/4) <b>■集落協定数</b> 192協定	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円	212,381	213,407	213,588	213,000
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	70,794	71,136	71,196	71,000
		事業費計(A)	千円	283,175	284,543	284,784	284,000
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4		
		延べ業務時間	時間	4,480	4,480	4,480	
		人件費計(B)	千円	18,265	19,407	18,995	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	301,440	303,950	303,779	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
中山間地域における、高齢化、担い手不足等により農業従事者の減少や農地の荒廃化が進んでいる。本事業の取組みにより耕作放棄地の発生を抑制されるとともに、集落ぐるみでの取組みにより集落維持も図られている。	集落に呼びかけ協定集落の維持や交付対象農用地の維持に努めている。	農家より農地の荒廃を防ぎ国土保全や地域環境保全に貢献したことや、集落ぐるみの農業を考える契機になるとの声がある。 農家、議会及びJAより事業継続の強い要望がある。

事務事業名	中山間地域等直接支払制度	所属部	農林振興部	所属課	農政課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合		
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合			
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	集落の更なる計画的な実践活動により成果向上の余地はある。		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない				
⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？				
<input type="checkbox"/> 影響無	理由	国の制度であり、申請があれば実施しなければならない。			
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		また、事業を廃止した場合、農業経営の継続が危ぶまれると同時に、農地の荒廃化が加速することが懸念される。			
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？				
<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合	(具体的な手段や類似事業名)			
<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる					
<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない					
<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由	類似事業としては、多面的機能支払交付金事業があるが、事業の趣旨が異なるため統廃合はできない。			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	関係法令等により全国統一の交付単価が定められているため、削減余地はない。		
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない					
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？				
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	協定変更、農地確認及び収支報告書等の作成支援など事務が複雑であり、集落への支援を実施しなければ協定集落が制度について行けなくなる可能性があるため、削減余地はない。			
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない					
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	制度上の制限はあるが、市内全集落が対象となっており公平・公正である		
<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である					
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)		
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	限られた交付金を活用していく上で、有効な活用方法を集落で実践してもらうことにより、協定で定めた以上の成果の向上が見込める。そのためには関係機関が一体となり指導の強化を図る必要がある。	
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
<p>第4期は平成27年度～令和元年度までの5年間を対象に、3期目の事業を継続しつつ、更なるステップアップを目指すよう制度の見直しが行われている。</p> <p>有効な活用方法を集落で実践してもらいつつ、今後も継続して事業を実施する必要がある。</p>																								